

ヘルスケア特集によせて

パナソニック ヘルスケア (株)

社 長 山根 健司



この度の東日本大震災に際し、被災地の方々には心よりお見舞い申し上げます。この未曾有の大惨事にあたり、その救援、復旧、復興には、関係機関ならびに関係会社と連携し、医療に携わる当社の使命として可能な限りの取り組みを実施して参ります。皆様的心暖まるご支援をよろしくお願いいたします。

いま当社グループは、新たな経営基盤の構築に向けての事業再編を進めております。当社が属しますヘルスケアソリューション事業におきましても、三洋電機、パナソニック電工と一体となった事業強化を鋭意進めているところです。しかしながら、ヘルスケア事業はおのこの国、地域において薬事法など多くの規制法令があり、ややもすると改革に多大な時間を費やしてしまいます。だからこそ、社会変化を見通し、常に一步先んじた改革を実施していかなくてはなりません。欧米企業は元より、中国・韓国メーカーの躍進も目覚しく、当社を取り巻く事業構造も日々大きく変化しています。当社はパナソニックグループの総合力を結集して強い相互補完を行い、パナソニックの商品群を融合させ医療に携わるすべての方々に安心と安全をお届けするソリューションビジネスで社会のお役に立ちたいと思っております。

そして、当社はアフォーダブル・ヘルスケアをキーワードに世界の人々に手の届くヘルスケアをご提供することを目指します。

その要諦の第一点は「お客様視点での商品開発」です。ここで言うお客様とは、治療を受けられる患者様だけにとどまらず、医療を支えておられるすべての方々でなければなりません。すなわち、患者様、医療従事者（看護師、医師、薬剤師、検査技師などの方々）、病院経営者、保険業者、国や地方自治体、そして流通卸売りを担われるの方々です。もし、このうちどなたかでもが異を唱えられる事業は成立し得ません。これらのお客様が必要とさ

れる「お役立ち」をご提供し、これらすべてのお客様にご満足頂くことが当社の存在価値なのです。

二点目は「絶対的な安心・安全の提供」です。

医療機器・医療サービスは、患者様の「命」、「人生」を左右する場合があります。ヘルスケア事業を担う当社の使命は「患者様の病気・けがの治癒＝健康で心豊かな人生のご提供」でなければなりません。従業員一人一人が高い倫理観をもって業務に励み、このお役立ちに誇りをもって歩むことです。当社が送り出す医療機器・医療サービスは、予防、検査、診断、治療、看護／介護、在宅ケアと多くの側面があり、すべての場面で高い信頼性を期待されます。それは、製品自身の信頼性のみならずUD (Universal Design)、メンテナンスなど市販後安全のための技術・サービスも包含しています。この安全の源流は「現場現物」だと思っています。医療現場での実使用環境や条件を十分に理解した上で「目配り、気配り、心配り」を忘れず、技術を鍛えることが必要です。

そのために、当社は医療の現場を知り、医学の知識と工学の知識を共鳴させ、高い倫理観をもち合わせた技術者、研究者を育成し、さらにグローバルな視点をもった医療機器・サービスの開発・設計・製造・販売を懸命に推進し、医療機器業界の発展に貢献して参ります。また、日本人の平均寿命は83歳、名だたる長寿国です。世界に先駆けて安心・安全の高齢者医療を作り上げねばなりません。

今回の特集号を起点に、医療分野の発展と一日でも早い患者様のQOL (Quality Of Life) 改善に貢献できたら幸いです。

最後になりますが、ご支援頂いております方々に感謝申し上げますとともに引き続き、ご教授を賜りたく宜しくお願い申し上げます。